



## 「障がい者だからと特別な心配はしていません」 就業前にした、たったひとつのこと

日頃の従業員に対する対応をしっかりしていたら、精神障がい者であろうが、特別難しいものではなく問題はありません。強いてあげるならば、就業前に服薬や通院状況、症状や配慮すべき点をなどを聞いて、それらを理解してもらえるよう、全従業員に説明をしたくらいです。その他は特に一般の社員、パートさんと変わりありません。

うつ病を持つ河合さんの仕事はピッキングです。お客様からお預かりしている様々な印刷製品を、注文通り倉庫内から取り出し、すべてそろっているか確認して梱包し、一日に約4,000部を発送しています。

障がい者だからと特別な心配はしていません。大切なのはその人に合っているかどうかだけです。合っていないでも社内には他の作業もあり、彼の仕事に対する資質・意欲を重視して採用しているので、初めから不安はあまり感じていませんでした。

今現在も、全く問題なく過ごしてもらっています。



## 会社のメリットにもなる 健常者以上のポテンシャル

河合さんの良さは、何と言ってもまじめさです。与えられた仕事を正確にコツコツとやれるところは、ほかの社員以上です。精神的にも自己管理ができており、起伏が少ないことも彼の良さです。理解力も素晴らしいと聞いています。

彼の場合は面接である程度予測できました。履歴書も高学歴でポテンシャルを引き出せば力を発揮できると思っていました。しかし、全ての人の能力・適正が、面接だけで分かるとは限りませんし、いい人が入っても辞めてしまうこともあります。今後も障がいの有無に関わらず雇ってみて、仕事が合えば続けてもらうつもりです。

これからの企業は、どうやって仕事と人をコントロールしていくかにかかっています。マネジメントの仕組みや人材育成ノウハウは、厳しい時代を勝ち抜くために欠かせません。優秀な人材確保は企業としての重要課題です。精神・発達障がい者の方の中にも有能な方は多く、上手く活用することで、会社としての大きなメリットにすることができます。

## 人材確保は重要課題 障がいより、意欲や資質を重視すれば、 障がい者の力を大きなメリットにできる

### 株式会社 クイックス 印刷・WEB



### 採用までのプロセス



利用した支援機関・制度 ● 障害者就職面接会 ● ハローワーク

### 人材難の中、障がいより重視すべきもの

[レポートP&Dサービス課 課長 石川さん]



人材難が続く中、障がい者の中にも有能な方は多くいるはずですが。障がい者雇用に目を向けた方が企業としてプラスになると考えました。

精神障がい者の雇用は初めてでしたが、特別理解があった訳ではありません。採用の基準は、障がいの有無に関わらず、仕事に対する意欲など本人の資質に関わってくると考えています。

現在も、普通の方と変わりなく、採用前後でイメージの違いはありません。

### 株式会社 クイックス

所在地 愛知県刈谷市幸町二丁目2番地  
事業内容 企画・編集、マニュアル制作、  
システム・プログラム開発、データ処理・加工、  
マルチメディア制作 (Web・CD-ROM)、  
書籍印刷一般

